

ま え が き

『奥さまは魔女』といえば、米倉涼子主演のテレビドラマ（2004）やニコール・キッドマン主演のアメリカ映画（2005）が思い出されるところだが、実はこの2つの作品はどちらもアメリカのABCテレビ制作による往年の人気テレビドラマ『奥さまは魔女』を下敷きにしたものである。原題を *Bewitched*（「魔法にかかった」と「魅せられた」の2つの意味を持つ）というこの連続テレビドラマは、一話完結の30分もので、1964年の放映開始から人気を集め、最終的にはなんと254話まで作られた（最終回は1972年）。その人気は根強く、2011年8月の情報によれば、CBSテレビでリメイクの制作が進められているとの話だ。

『奥さまは魔女』は、一言でいえば、魔女のサマンサが普通の人間ダーリンと出会い、結婚し、子どもを産んで育てる、その過程で遭遇するさまざまなできごとをおもしろおかしく描いたファンタジー・コメディである。日本でも放映されて大人気を博した。日本版だけに流れるオープニング・ナレーション（ナレーター：中村正）は、中高年世代には懐かしい文句だ——「奥さまの名前はサマンサ。そして、だんな様の名前はダーリン。ごく普通の2人は、ごく普通の恋をし、ごく普通の結婚をしました。でも、ただひとつ違っていたのは……奥さまは魔女だったのです！」

『奥さまは魔女』の人気の秘訣は、なんといっても主人公の魔女サマンサのチャーミングな魅力だろう。しかし、妻、姑、娘ら魔女たちが毎度引き起こす数々の騒動に振り回されながらも、サマンサとの愛を貫き、ひとつひとつの困難に雄々しく立ち向かっていくダーリンの健気さも捨てがたい。ダーリンと姑エンドラ（もちろん魔女）が毎回繰り広げる毒舌バトルも必見ものだ。

『奥さまは魔女』は、そのエピソードのどれもが視聴者を楽しませ、ほのぼのとした気持ちにさせてくれる味わい深い作品であり、今もなお世代を越えて世界中で愛されている。日本でもくり返し再放送され、現在もソニー・ピクチャーズエンタテインメントよりDVDシリーズが発売されている。

本書では、数多いエピソードの中から3話を選び、その脚本の一部を収録した。DVDでは第6シーズンの第4巻に収録してある。下記の商品情報を参考に、ぜひ実際のドラマを視聴してほしい。そして、この3話にとどまらず、他のエピソードも見ていただきたい。英会話の学習に最適であるし、アメリカの文化、国民性の良さを見直すきっかけになるだろう。

最後になってしまったが、本書が日の目を見ることができたのは、多くの方々のご協力と暖

UNIT 1

朝— スティーヴンス家の台所

お母さんのサマンサが弟アダムのお世話で忙しいため、かまってもらえないタバサは大むくれ。



会話の決まり文句

1. That does it.
2. Say hello to Mr. Anderson for me.
3. Good luck.

Vocabulary Check

本文で用いられている次の単語について、辞書で調べて下記の表を完成させよう。
(品詞と意味については、本文中で用いられているもののみ記載している。)

	1	2	3	4	5	6
	fly	feed	fold	certainly	difficult	share
発音記号						
品詞						動詞
意味	飛ぶ		折りたたむ	もちろん (いいですよ)	気難しい	
過去形						
過去分詞形						
他の品詞の形	名詞形	名詞形	名詞形	形容詞形	名詞形	名詞形

朝。ステイヴンス家の台所。サマンサがアダムにミルクを飲ませている。
タバサが入ってくる。あごにばんそうこうを貼っている。

タバサ： Mommy.

サマンサ： How's your chin?

タバサ： It's better.

サマンサ： That's good. Maybe the next time I tell you you're
too young to fly, you'll pay attention to me. 5

タバサ： Mommy, can we go to the play park this afternoon?

サマンサ： Oh, not today, sweetheart. I have a lot to do.

タバサ： But I wanna go to the play park!

サマンサ： So do I, sweetheart, but I told you I have too
much to do. I have to finish feeding Adam, and 10
I have to give him his bath, put him down for his
nap, and then there are diapers to fold.

タバサ： Why can't Esmeralda do all that?

サマンサ： Because Esmeralda isn't here, and because
Mommy should do those things. 15

ダーリンが入ってくる。

ダーリン： Sweetheart, I just finished the revisions on the
Nickerson Account and I've got a meeting with
them at 2:00, so I better run. (アダムに) See you at
dinner, big fellow.

タバサ： May I have an ice-cream cone? 20

サマンサ： Certainly, as soon as I'm through feeding Adam.

タバサ、魔法でアイスクリームを出して、食べ始める。サマンサ、それを
取り上げる。

サマンサ： That does it, young lady. You know you're
not supposed to do things like that.

タバサ： But you said I could have an ice-cream cone!

ダーリン： And Mommy also said she'd get it for you right
after Adam finished his lunch. 25

タバサ： That's not fair!

ダーリン： Sweetheart, don't you understand you have
to share Mommy now that you have a little
brother? 30

文法

- * too ~ to do
- * pay attention to ~

- * So do I.
- * have to do

文法

- * have got = have
- * I better = I had better

プラスワン

文法

- * be through ~ ing

会話

- * be supposed to do

プラスワン

文法

文法



タバサ： May I go to my room now?
 ダーリン： I thought you wanted an ice-cream cone.
 タバサ： I don't want it any more.
 ダーリン： Then you can go to your room and stay there.
 タバサ、台所を飛び出す。
 ダーリン： Women start to get difficult early in life, don't they? 35
 サマンサ： Well, really! She'll be all right. I'll look in on her later.
 ダーリン： I better run.
 サマンサ： Mm-hmm. 40
 ダーリン、サマンサにキスをして出て行こうとする。
 サマンサ： Say hello to Mr. Nickerson for me and good luck.
 ダーリン： Thanks, honey. (出て行く)
 サマンサ： (アイスクリームをもてあまして) Oh, well.
 アイスクリームをなめるサマンサを、アダムがじっと見上げる。
 サマンサ： You want a bite too? You want a bite? It's cold.
 アダム、アイスクリームをなめて、顔をしかめる。

プラスワン

* not ~ any more

文法 プラスワン

* start to do

* look in (on ~)

会話 文法

* thanks = thank you



◆注◆

- 6 play park= 遊園地
- 12 nap= 仮眠、昼寝
- 12 diaper= おむつ
- 13 Esmeralda= ステイヴンス家の通いの家政婦
- 16 revision= 書き直し
- 16 the Nickerson Account= ニカーソンからの依頼の仕事

文法のポイント

接続詞

正しく英文を理解するには、構文を正しくとらえることが絶対に必要だ。本書の構文理解に役立つ文法事項を1つずつ確認していこう。

最初に、**接続詞**の使い方を押えておこう。そうすれば、長い英文を節ごとに区切ることができ、構文をとらえることが楽になるだろう。

節とは、《**主語 + 述語動詞**》からなる意味のまとまりである。節と節を結ぶ**接続詞**は2種類ある。

- ① 2つの節を対等につなぐ**接続詞**（**等位接続詞**）（and, but, or, for, so）

例) He went to the dance, **but** I stayed home.

I was tired, **so** I went to bed early.

I went to bed early, **for** I was tired.

- ② 従属する節を導く**接続詞**（**従属接続詞**）、（though, as, since, when, if など多数）

例) **If** it is fine tomorrow, I'll go fishing.

上の英文の構造のイメージを図にすると、下のようになる。

He went to the dance **but** I stayed home. 2つの節は対等な関係

If it is fine tomorrow, I'll go fishing. Ifに導かれる節は、主節に従属している関係

☆ 次の語(句)も接続詞としての働きをする。意味を確認しておこう。

- ① as long [far] as ~ 「～する限り」
- ② as soon as ~ 「～するやいなや」
- ③ in case ~ 「～した場合には、～するといけないから」
- ④ (the) next time ~ 「次に～するときには」
- ⑤ no matter how [what, when, where など] ~
「いかに [何が、いつ、どこで] ～であろうとも」
- ⑥ now that ~ 「今や～なので」
- ⑦ once ~ 「いったん～したら」
- ⑧ so that ~ may (can) 「～する(できる)ように」

練習問題

次の語または語句を並べ替えて、日本語の意味を表す英文を作ろう。

1. 次にシンガポールに来たときには、私に電話してください。

Please { me, next, call, time, Singapore, to, you, come }.

2. 寝過ごしてしまったので、急いで学校に行かないといけない。

I { to, overslept, because, I, school, run, have to }.

3. 駅に着いたとたん父はトイレに行った。

My father { arrived, as soon, at, he, went, the lavatory, the station, as, to }.

4. 彼がパーティに来たのはあなたが帰った直後でしたよ。

He { right, the party, left, after, you, to, came }.

5. あなたはもう大人なのだから、自活すべきです。

You { that, you, an adult, now, make, should, your own living, are }.



プラスワンポイント

<許可>の表現

許可を求める表現には、主に次のようなものがある。

- Can I ~ ? (口語的な表現)
- May I ~ ? (形式ばった表現)
- Could I ~ ? (ていねいな表現)
- Do [Would] you mind if ~ ? (非常にていねいな表現)

答えの文としては Yes, you may [can]. / Yes, of course. / Certainly.

* “Yes, you could [might].” とは言わない。(許可を与えるときは断定的に言う。)

本文の英語で確認しよう

1. May I have an ice-cream cone? (タバサ、20 行目)
2. But you said (that) I could have an ice-cream cone! (タバサ、24 行目)
3. May I go to my room now? (タバサ、31 行目)

練習問題

<許可>を求める意味の例文とその和訳を手持ちの辞書から書き写そう。

1. Can I ~ ?
2. May I ~ ?
3. Could I ~ ?
4. Do you mind if ~ ?



続きのあらすじ

タバサは魔法で自分だけのサマンサを出現させます。タバサと偽のサマンサはかくれんぼをした後に、ふたりで遊園地に行きます。たくさんの乗り物に乗り、お菓子をたらふく食べるタバサ。しかし、向かいの家のグラディス・クラヴィッツとぼったり出会ってしまいます。詮索好きで、日頃からスティーヴンス家に何か秘密があると疑っているグラディスは、サマンサの様子がいつもと違うことに気づき、何かあるとにらみます。

魔女の起源

魔女の起源はキリスト教が伝わる以前の土着信仰における女神に由来すると言われ、ヨーロッパのあらゆる民間伝承の中にその原型が見られます。中でも私たちになじみのある魔女は北欧系統の *hagazussa* (*hag* は 垣根、*zussa* は女性の意) で、「垣根＝柵の上を飛ぶ女」というものです。イギリスにはヴィッカー (*wicca*) というものがあり、これは「賢い女性」という意味で、「魔女、妖術師」という意味の *witch* もその系列にあります。

参考文献：『魔女とキリスト教』上山安敏著（講談社、2001年）